

北陸自動車道(仮称)高岡砺波スマートインターチェンジ  
高速バス停留所の設置について

1 目的

高速バスは、他の交通機関と比較して低廉な運賃、夜行便における時間の有効活用等のメリットに加え、高速道路網の整備や車両のグレードアップ等により全国的に路線数、利用者数とも増加してきており、今後、期待される高速交通機関となっている。

一方、本市における利用者にとっては、東京方面のバスの運行本数が少ないことや、関西方面や仙台方面への運行便がなく、行き先や本数が限られており選択肢の幅が小さくなっている状況である。

このため、高速バス利用者への利便性の向上を目的に、本市として、停留所設置の可能性について探るものである。

2 対象箇所

(仮称)高岡砺波インター線の周辺  
地での検討

その他、市内における高速バス停留所設置可能な箇所についても、併せて調査する。



3 調査・検討概要

- ・全国の事例調査
- ・駐車場の規模や施設内容
- ・バスの運行想定や施設維持管理
- ・利便性、安全性、整備効果
- ・既存施設等からの利用状況 など

4 今後の予定

砺波市や関係機関、地元自治会と協議を進める。

都市整備部都市計画課計画担当

: 20 - 1404 (707)